

令和元年10月21日

保護者のみなさま

島本町立第二小学校  
校長 辻本 堅二

## 「家庭学習フォローアッププログラム」の導入について（お知らせ）

紅葉の候、みなさまにおかれましてはますますご清栄のことと存じます。平素は本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、本校では書画カメラやプロジェクターの活用をはじめ、本年度からは、プログラミング教育やタブレット端末を活用した授業の導入を進めています。

そこで、家庭学習フォローアッププログラムとして、本年度2学期半ばより導入する「タブレット PC 用ドリル教材 タブレットドリル（東京書籍）（以下「タブレットドリル）」というドリル問題を中心とした様々な教育用コンテンツを利用できるプログラムを導入します。

このタブレットドリルには、児童が自宅のパソコン、タブレット、スマートフォンからインターネットに接続して予習や復習を行うことができる家庭学習サービスがあります。各家庭では、このサービスを無料<sup>※1</sup>で利用することができます。それにより、基礎学力の定着、家庭学習の習慣化、発展的な学習の充実に役立てることができると考えています。

※1 通信にかかる費用は各家庭での負担となります。

○タブレットドリルの特徴（詳細は、<https://tabweb.tokyo-shoseki.co.jp/support/td/about.html>）

- ・一人ひとりに合った学びの実現
- ・自分のレベルに合ったプリントが見つかる
- ・手書き入力（タブレット PC）／キーボード入力対応
- ・解いたらすぐ採点、答えを確認（解いたプリントは自動採点され、正答と自分の答えをすぐに見比べることができる）。
- ・解説動画がある。

本年度の全国学力・学習状況調査から本校児童の課題のひとつに「家庭学習」があげられます<sup>※2</sup>。「家庭学習」には授業の予習・復習、学力の定着、学習の習慣化、根気・集中力の育成や保護者と子どもの触れ合い等、様々な意義があります。しかし、子どもたちがこれからの社会をよりよく生きていくには、「主体的に学習に取り組んでいく姿勢」が重要であると考えています。そのためには、自分自身で何が課題なのか（どこがわかっていて、わかっていないのか等）を理解し、それを解決するためにはどのようにしたらよいのかを自分で考え、解決していく過程を通して、自分自身の力を客観的に知ることが大切です。そして、自分は次にどんなことに取り組みたいのかを選択できる力が身についてきます。とは言ってもすぐにひとりで、そのようにできることは困難です。子どもの年齢やレベル等の実態に応じて保護者からのサポートがあれば、「生きた家庭学習」が進んでいくのだと考えています。

※2 ・「家で自分で計画を立てて勉強していますか」の肯定的回答

本校 56.1% 大阪府 63.4% 全国 71.5%

・「学校の授業時間以外に普段、1日当たりどれくらいの時間勉強しますか」の1時間以上

本校 45.1% 大阪府 58.3% 全国 66.1%

○「タブレットドリル」の使い方については、以下の URL をご参照ください。

<https://tabweb.tokyo-shoseki.co.jp/support/td/index.html>

タブレットドリル サポート 動作環境

小学生向け  
タブレットドリル ログイン

中学生向け  
タブレットドリル ログイン

お問い合わせ

よくある質問

タブレットドリルとは？

使い方動画

小学校 使い方ガイド

中学校 使い方ガイド

お知らせ

2019.07.10 【小学校版】iPad(iOS12)で発生している不具合に対応しました

2019.07.01 【中学校版】iPad(iOS12)で発生している不具合に対応しました

お知らせ一覧

Copyright © TOKYO SHOSEKI CO., LTD. All rights reserved

東京書局

①学校から児童を通じて、「団体コード」「ID」「パスワード」をお渡しします。これはお子様個人のもので卒業まで使用します。

②「小学校使い方ガイド」を必ずお読みください（電子データで保存またはプリントアウトをお勧めします）。

③小学校向け「タブレットドリル ログイン」をクリックすると、ログイン画面になりますので、①のそれぞれに英数字を入力します。使い方は②を参照してください。

※「使い方の動画」を見ることができます。また、問い合わせもできます。

※後日、本校の HP から「ログイン画面」に入れる設定を行います。

以上